

令和7年度 秦野精華園今泉地区生活ホーム地域連携推進会議 報告

日時： 令和7年11月21日(金) 10:00 ~ 12:15

場所： 希望の丘はだの 地域交流ホール

出席者： 自治会連合会会長、保護司、利用者家族代表、利用者代表（事務局：支援2課長(管理者)、

サポート：秦野精華園園長、希望の丘はだの施設長、総務部長、地域生活支援課員3名)

1. 開会 管理者より、会議参加への謝辞および開催趣旨、本日の進行について説明を行い、出席者の承認を得た。

2. 出席者紹介 自己紹介形式にて実施。

(大根地区自治会連合会会長、保護司、利用者家族代表、利用者代表、管理者、地域生活支援2課長ほか)

3. 次第 (1)施設説明・地域との連携について

- パワーポイント等を使用し、管理者よりグループホーム(以下、GH)の特徴や支援体制について説明した。
- 地域との連携については、自治会への加入状況および活動状況を併せて管理者より説明した。
- 自治会連合会会長よりGHの自治会加入状況について確認があり、全ホームが加入済みである旨を報告した。

(2)施設等のサービスの透明性・質の確保について

- 主任より、GH支援の中心を担う職員への対応、業務過多軽減に向けた取組、および有事の際の事業継続計画(BCP)について説明。市や所属自治会の防災訓練において、利用者の状況に合わせた取組を行っていることを報告した。
- 自治会連合会会長より、有事の際の現場の混乱を想定し、さらなる工夫を検討すべきとの助言をいただいた。

(3)利用者の権利擁護について

- 資料に基づき、課員よりヒヤリハット事例について説明した。
- 自治会連合会会長よりヒヤリハットの具体的な状況について質問があり、主任より詳細な回答を行った。

4. その他(意見交換)

- 防災関連：自治会連合会会長より、有事の際の避難所における役割分担が不明確である点や、行政の指示待ちとなる課題について指摘があった。「利用者が適切な対応を受けられない懸念があるため、実態を想定した訓練を実施すべきではないか」との意見をいただいた。
- 事例紹介：保護司より、自ら携わった事業所において、地域住民との協力体制構築や避難経路の共同確認を行った事例の紹介があった。
- 質疑：利用者家族代表より、災害時における「避難行動要支援者」への登録状況について質問があった。施設長より、当園のGH入居者はバックアップ施設(障害者支援施設)の所属として扱われるため、施設の一部としての対応となる旨を回答した。
- 次回予定：年明け以降にGH見学会を開催し、現地の状況確認を行うことを合意した。

5. 閉会 管理者より出席への謝辞と今後の連携協力の依頼を述べ、閉会とした。

令和7年度 秦野精華園今泉地区生活ホーム地域連携推進会議見学会 報告

日時：令和8年3月13日(金) 10:00 ~ 12:15

場所：希望の丘はだの地域交流ホール、および今泉地区各グループホーム

出席者：自治会連合会会長、保護司、利用者家族代表、利用者代表（事務局：支援課長(管理者)

サポート：希望の丘はだの施設長、総務部長、地域生活支援課員3名)

1. 開会 管理者より会議参加への謝辞、開催趣旨、および本日の進行について説明を行い、出席者の承認を得た。
2. 出席者紹介 本日はホーム視察が主であり、時間が限られていること、および委員の変更がないことから省略した。
3. 挨拶 施設長より当会の趣旨および今回の視察内容について説明を行った。巡回するGHの数や、利用者のプライバシー保護(内覧承諾)の兼ね合いから、一部を実地視察とし、他は車中からの案内となる旨を伝えた。
4. 次第
 - (1)今泉地区生活ホーム グループホーム説明(資料①参照)
 - パワーポイントを使用し、各GHの概要説明を行った。
 - 設置場所が広範囲である点や内覧承諾の状況を踏まえ、現地視察と車中からの案内の分担について改めて説明した。
 - (2)グループホーム現地視察
 - 事業所に登録されている全GHを巡回した。主に車中からの案内を中心とし、途中で内覧承諾を得られた3箇所のGH(ケアタイプ、アパートタイプ、サテライトタイプ)について室内視察を実施した。
5. その他(質疑応答・意見交換)
 - 自治会連合会会長より:
 1. タイプ別の特徴について理解を深めるため、内容を明文化することを推奨する。
 2. 利用者の買い物手段や主な目的地についての質問。
 3. GH入居者の最長在籍期間についての質問。
 4. アパートタイプ入居者の日中の活動場所についての質問。
 - 保護司より：物件確保等の苦勞が察せられる。視察したホームの住環境は非常に整っており、清潔に保たれているとの感想をいただいた。
 -
6. 閉会 総務部長および管理者より、出席への謝辞と今後の協力依頼を述べ、閉会とした。